

Vol.054  
 福島市議会真政会報  
 平成30年7月

# 真政会報

真政会綱領

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



## 「高齢者が元気に過ごせる地域づくり」 第5回市民の皆さんとの意見交換会を開催

5月16日(水)午後2時から市民会館第2ホールで、当会派主催の「第5回市民の皆さんとの意見交換会」を開催しました。この日は、午後の気温が30度を超える暑さで参加者の出足が心配でしたが、18名の市民の皆さんにお集まりいただき、11名の会派議員との積極的な意見交換ができました。

今回は、「高齢者が元気に過ごせる地域づくり」をテーマに、第一部はまず参加者全員で「ももりん体操(短縮版)」を体験してから、市内での取り組み団体などの先進事例の報告を聞き、その後、3つのグループに分かれての意見交換を実施しました。

報告を聞いてのグループ別発表では、①『長寿会』



ももりん体操でリラックス！

②「高齢者の居場所づくりと地域のリーダーの研修・養成が大切ではないか」、③「30年前は地区の大運動会で町内会の交流が盛んだったが、何か替わるものはないかと始めたのが『ももりん体操』でした」など、今までの経験を通じた意見の交換ができました。

第二部は、参加者から自由に意見を出していただき、それに対して当会派の議員が答弁をしました。①「公会堂の取り壊しは、別の所に建てた後にして欲しい」、②「信夫地区からは2人しか来ていない。地域のことを一番知っているのは町内会長さん。皆さんに広く参加を呼び掛けて欲しい」、③「既存の老人クラブには中々入会していただけない現状の打開策として、各町内会の内部組織として『高齢者部会(65歳以上)』を作ることが有効です。ぜひ、他の町内会にも働きかけを!」、④『もも

参加者アンケートでは、「初めての参加で不安でしたが、いろいろな話が聞けて良かったです」、「身近なテーマで考えさせられました」、「高齢者の持てる力を現在の核家族社会の中にどう活用し役立てるか」、「直接、議員がお話しただけなので、とてもいい機会でした」、「若い人や他地区の人の意見がわかり良かった」、「活発な議論になって聞きごたえがあった」などのご意見をいただきました。次回の開催に生かしたいと思います。

「活発な議論になり聞きごたえがあった」



黒澤 仁

### 会長挨拶 会派政策立案・実現に向けて

6月10日、天皇后両陛下をお迎えして、第69回国植樹祭が南相馬市原町区雫の海岸防災林整備地で開かれ、私を含め会派から経済民生委員3名が参加しました。又、翌日の福島市音

楽堂への両陛下のご視察に際しましては、議長をはじめ全議員でお迎えをする大変光栄な経験をさせていただきました。これからも変わることなく被災地を見守っていくという強い思いが両陛下のお姿から伝わってまいりました。

私たち真政会は、市民に最も身近な行政という意識を持つて市民満足度を上げ

るため、きめ細やかな政策を提言しながら真の復興を果たしていくことをあらためて誓います。又、多くの市民の意見を反映した政策実現のため、さる5月16日に第5回となる「市民との意見交換会」を開催いたしました。今後も議員だけの議論に留めず、市民の皆様

という名前を『ゆうゆう会』に切り替えた人が集まってきた」、②「高齢者の居場所づくりと地域のリーダーの研修・養成が大切ではないか」、③「30年前は地区の大運動会で町内会の交流が盛んだったが、何か替わるものはないかと始めたのが『ももりん体操』でした」など、今までの経験を通じた意見の交換ができました。



# 各常任委員会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。福島市議会基本条例に基づきさらに頑張ってまいります。  
なお、【 】内は、当会派のそれぞれの所属議員名です。

## 総務 (定数9人) 【穴戸・小松・萩原】



【財務部】大笹生

【政策調整部】ふくしまプロモーション事業費は本市の魅力の再認識とイメージアップ、認知度上昇を図るため、若手クリエイターらを招致し、本市の自然や食文化の体感を通して、各々の感性と表現により本市をPRする30秒CM動画を募集して、作品を渋谷の交差点前屋外ビジョンで30秒のCM動画を放映するものです。

【消防本部】消防団員の活動服が一齐に更新されます。Tシャツとアポロキャップも併せて更新。青色を基調に、夜間活動時等の視認性及び注目度を高めるため、オレンジ色の配色を大幅に増し、福島市消防団の文字がはいります。

### 今回の主な補正予算

- ふくしまプロモーション事業費…………… 2,100
- 常備消防用放射線測定器校正点検費…………… 2,342 (千円)

## 文教福祉 (定数8人) 【真田・尾形・二階堂】



【教育委員会】市立幼稚園の再編成により、集団規模を適正化し幼児教育の向上を図るため、福島市学校条例の一部を改正しました。市直営により運営を行ってきた「こむこむ館」について、平成31年4月からの指定管理者制度導入に向け

て条例改正を行いました。【健康福祉部】介護保険法施工令に基づき、低所得者の保険料軽減強化のための財政措置が講じられたことから、福島市介護保険条例における保険料率の改正が行われました。これにより低所得者の第1段階被保険者の保険料が年額3,700円軽減されます。

【こども未来部】「福島市公立幼稚園再編成計画」に基づき、平成31年4月開園に向けて公立認定こども園(仮称)福島中央認定こども園及び「(仮称)ひらの認定こども園」の改修工事を行います。

### 今回の主な補正予算

- 信夫ヶ丘球場改修工事設計事業…………… 6,930
- 公立認定こども園整備事業…………… 95,284 (千円)

## 経済民生 (定数9人) 【渡辺・黒澤・誉田】

【環境部】震災以降、原発事故の影響により実施しなかった全市一斉清掃(側溝土砂上げ)について、除染等が全地区で完了し作業の安全性が確保されたことから、本年秋から再開するための経費を計上しました。



【第69回全国植樹祭ふくしま2018】経済民生常任委員会

【農政部】効率的な森林施業と建設コストの低減を図るため、主として森林施業のための道である林業専用道(北山支線・惣八郎支線)の整備を実施します。

【市民安全部】福島市国民健康保険条例を一部改正する条例制定の件について、被保険者の負担に配慮した税率に改正するものがあり、平成30年度以後の年度分の国民健康保険税について適用します。

### 今回の主な補正予算

- 環境美化推進費…………… 49,270
- 企業立地促進費…………… 142,816 (千円)

## 建設水道 (定数8人) 【大平・白川・川又】

【都市政策部】福島市都市公園条例の一部を改正する条例制定について審査・承認しました。この改正は、これまでも茶会などに利用されてきた御倉邸をより活用するため、その管理を民間団体などに委託する指定管理者制度の導入と、園内の営利利用を認めるものです。



【建設部】除雪機の更新と

### 今回の主な補正予算

- 都市再生整備事業…………… 5,000
- 除雪関連事業費…………… 19,224 (千円)

平成30年6月 定例会議で採択された

請願

意見書

陳情

(抜粋)

請願	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リアルタイム線量測定システムを一方的に撤去しないことを求める意見書提出方について</li> <li>●国の「被災児童生徒就学支援事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書提出方について</li> </ul>
意見書	<ul style="list-style-type: none"> <li>●少子化に対する更なる総合的な対策を求める意見書</li> <li>●リアルタイム線量測定システムを一方的に撤去しないことを求める意見書</li> <li>●国の「被災児童生徒就学支援事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書</li> </ul>

# 6月定例会議一般質問（抜粋）

真政会から萩原太郎・渡辺敏彦・黒澤仁・尾形武・小松良行・白川敏明の6名が質問に立ち、市政全般の諸課題を質しました。

## 福島市の目指す将来像について

**Q** 中核市となった福島市が目指す今後の将来像と役割について伺う。

**A** 「市民サービスの充実」と「福島らしいまちづくり」がより可能となったことから、グレードアップした県都にする」とも東北全域の活性化と人口定住を視野に「風格のあるまち」を目指します。持続可能な自治体運営や地域経済の活性化を図っていくために、近隣の市町村と相互の特色を生かし、補完し合いながら共存共栄していくような広域連携が不可欠です。福島市が、中心都市として、「ともに成長し互いに実のある」連携事業に積極的に取り組むことが期待されています。そのため今までの「福島圏域首長懇話会」を「広域連携推進協議会」として組織を強化発展させ広域連携を強力に推進します。との回答を得ました。

## 自治振興協賛と空き家対策について

**Q** 自治振興協賛会要望における平成28年度平成29年度の実績と今後の取り組みについて伺う。

**A** 市内全体で1,700件余であり達成率は35%弱

で側溝の蓋かけや街灯など費用のかからない要望への対応が多い現状です。財政状況が厳しいため大きな費用がかかる要望への対応は困難なので抜本的な財政の見直しを要望しました。

**Q** 空き家対策について伺う。

**A** 市内91,000余軒中、2,800余軒の空き家があるので所有者に対して適正管理を要請していますが更にすると固定資産税が上がるなどの課題があり対応に苦慮しているとのことでした。近隣住民の安全確保のために臨機応変な施策対応をすべきと要望しました。

## 消防本部庁舎の建て替えについて

**Q** 消防本部庁舎の建て替えについて伺う。

**A** 平成29年度に実施した耐震診断の結果は「震度6強から震度7に達する大規模地震を受けると倒壊や崩壊する危険性が高い」と判断されました。消防本部庁舎は市民の命と財産を守る最も重要な施設であり、庁舎建て替えは喫緊の課題となつています。市は庁舎建て替えを検討中で2019年度までに計画を策定します。現在地は緊急出動に不都合なため国道4号に近い位置を候補地に検討し

## 市街化調整区域について

**Q** 市街化調整区域の開発行為が規制されているが、各種要件の規制緩和を図り、市民生活の向上と市民ニーズに配慮する上で見直しが必要と考えるが所見を伺う。

**A** 市街化調整区域は、市街化を抑制し農地等を保全する地域であることから、区域内の開発行為は制限されています。しかし農村集落の地域コミュニティの維持・再生は重要であり、本市では開発許可基準の一部を緩和する制度の活用や、計画的に開発する地区計画制度を運用して、秩序ある土地利用を図っています。今後とも適正な土地利用の誘導を行い市民生活の向上と市民ニーズに配慮していきたいとの答弁でした。土地の有効利用を図る為、尚一層の緩和措置を求めました。

## 「罪を犯した人の更生支援」について

**Q** 犯罪をした者等の円滑な社会復帰を促進することによる再犯防止が、犯罪対策において重要であることから、国は平成28年12月に「再犯の防止等の推進に関する法律」を施行、地方自治体での取り組みに対し

ては努力規定が設けられているが、市として「地方再犯防止推進計画」策定に対する考えを伺う。

**A** 罪を犯した人の再犯防止に関する取り組みとしては、市内の矯正施設や保護観察所、保護司会、福島県地域生活定着支援センター等関係機関・団体と情報交換を緊密に行い、生活困窮者自立支援法、生活保護法を中心とする支援を活用し対処しています。本市としては、2020年度策定予定の次期福島市地域福祉計画に再犯防止に関する事項を盛り込むことに対応していく考えです。

## 復興創生期間の終了後に

**Q** 政府における「復興・創生」期間が平成32年度で終了することについて、本市としてどの様に捉えているのかを質しました。

**A** 平成32年度までの復興創生期間の終了をもって、復興を目指す特別対策期間は終了しますが、この取り組みにより本市でも交通ネットワークの整備、面的除染の完了、32年度末までの除去土壌の仮置き場への搬出、全市一斉清掃における側溝の土砂上げの再開など、市民が安心して生活できる環境が確実に整ってきています。しかし本格的な復興には道半ばであり、長期的な対応が必要であり、風評の払拭、観光再生、県全体の経済の自立的発展や、風評・偏見への措置も必要であることから、終了後も国の機関の必要性を認識しており全国市長会でも要望していくとのことでした。

## 天皇后両陛下を「ご奉迎」

第69回全国植樹祭の南相馬市開催に合わせ、天皇后両陛下が、6月11日福島市の古閑裕而記念館を訪問され、福島市議会は議長以下当会派12名を含む全議員で、両陛下を奉迎させていただきます。

平成天皇としては最後の訪問となる今回、館内では古閑氏の業績や古閑メロディーを興味深く見学なされました。



一同、深い感銘を受けた奉迎となりました。

## 2020東京オリンピック委員会

今年4月に、福島県文化スポーツ局より県のアクションプランの説明を求め、基本コンセプトを、「交流の拡大を通して、前に進むふくしまの魅力を全世界に伝え、ふくしまの誇りを未来につなげよう！」とし、主要事業として本市11の小中学校においてスポーツ選手等を招き講演会などを実施しています。行政視察を5月に実施し、東京都江東区では、オリンピック・パラリンピック教育推進計画を策定し、全ての公立幼・小・中学校生徒が大会に関わることにし、各プランを組み合わせて各学年年間35時間の教育に平成28年より取り組んでいます。長野市では、長野オリンピック開催時の取り組みとして学校においては、「一校一運動」を展開し、ボランティア活動が運営を支えました。石川県七尾市では、「合宿等誘致事業」として、和

倉温泉と協力し人工芝サッカー場全5面・テニスコート全24面等を備え高校生や一般人の合宿誘致事業を展開しています。これらの視察を通して、本市の教育委員会に対して来年度からオリンピック教育に取り組むことの提言を早急に行うこととしました。今後は、高校生との意見交換会を開催し、若者のオリンピックに対する期待・考え方を幅広く聴取する予定です。



# 6月定例会議の報告

6月定例会は6月1日開会され、はじめに木幡市長より、本年4月1日より中核市に移行したとの説明があり、市民、市議会、関係機関への感謝の言葉を述べられました。そして中核市への移行後2カ月が経過し、大きな混乱もなく円滑に事務が進んでいる旨の報告があり、中核市移行は未来へのスタートであるため、今後も総合的な福祉サービスなど市民サービスの充実、福島らしいまちづくりを推進するとともに、風格ある県都として都市機能の強化と連携を進め、「元氣あふれるふくしまの新ステージ」を築いていくと抱負を述べられました。

また渡利学習センター整備費、信夫ヶ丘球場改修設計費、ふくしまプロモーション事業費、戊辰百五十年記念事業費等です。今定例会においては、平成30年度一般会計補正予算等の議案24件、報告7件、市税条例の一部改正、人事案件等の追加議案7件が提出され、それに対して当会派より6名が一般質問を行いました。そして慎重なる審査を行い、定例会最終日には全議案が賛成多数で可決されるとともに、当会派より提出いたしました「少子化に対する更なる総合的な対策を求める意見書」も全会派の賛成により採択されました。

続いて、除染の進捗状況、除去土壌の収集運搬の早期実施、全市一斉清掃の再開等、放射能問題について、また待機児童対策、公共施設の戦略的再編整備、広域連携推進のための取り組み、東京2020オリンピック。

また、一般会計補正予算における歳出予算の追加額は6億8,400万円余であり、主な歳出補正は、来年4月開園の市立認定こども園2園の整備費、全市一斉清掃にかかる側溝の土砂上げ費、新最終処分場費、

また渡利学習センター整備費、信夫ヶ丘球場改修設計費、ふくしまプロモーション事業費、戊辰百五十年記念事業費等です。今定例会においては、平成30年度一般会計補正予算等の議案24件、報告7件、市税条例の一部改正、人事案件等の追加議案7件が提出され、それに対して当会派より6名が一般質問を行いました。そして慎重なる審査を行い、定例会最終日には全議案が賛成多数で可決されるとともに、当会派より提出いたしました「少子化に対する更なる総合的な対策を求める意見書」も全会派の賛成により採択されました。

また、一般会計補正予算における歳出予算の追加額は6億8,400万円余であり、主な歳出補正は、来年4月開園の市立認定こども園2園の整備費、全市一斉清掃にかかる側溝の土砂上げ費、新最終処分場費、



## 当会派意見書が採択！

人口動態統計によると合計特殊出生率は2年連続で低下し人口減少に歯止めがかかっていない現状です。そこで当会派では少子化に対する更なる対策を求める意見書を提案。全会一致で採択され議会として国へ意見書を提出することとなりました。以下原文です。

### 少子化に対する更なる

### 総合的な対策を求める意見書

平成30年6月1日に公表された人口動態統計月報年計(概数)によると、我が国の平成28年の合計特殊出生率は1.44であり平成29年に1.43と少子化に歯止めがかからない状況であり、人口を維持できる水準である2.07を大きく下回っている。福島県においても平成28年の合計出生率が1.59に対し、平成29年は1.57となり、出生数で527人減少となり少子化が進行し、また、全国の平成29年の死亡数は134万433人であり戦後最多となり、自然増減数はマイナス39万4,373人(前年比6万3,603人減少)で過去最大の減少幅になっている。これら少子化の進行による人口の減少は、労働力不足に伴う経済の衰退や社会保障制度の持続可能性の低下など様々な問題を引き起こす懸念がある。これまでわが国では様々な少子化対策を行ってきたが現在のところ少子化傾向に歯止めがかかっておらず、人口維持のためには子育て支援をはじめとした総合的な支援策のさらなる充実が求められている。よって、国においては、早急に次の措置を講じ、対策に取り組むよう強く求める。

1. 出会いから結婚・出産しやすい環境整備を行うとともに、若者の就労支援の充実などにより若い世代の経済的な不安を軽減すること。
2. 産科・小児科医の確保に努め医療体制の整備を行うとともに、男性不妊治療を含む、不妊治療費の無料化を図ること。
3. 早期に待機児童ゼロを実現するとともに、学童の放課後頂かりのための国の助成を拡充すること。

今回の一般質問の全体内容は、福島市議会ホームページ【<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/site/gikai/index.html>】の「議会録画中継」でご覧いただけます。

**尾形 武**  
相談役  
文教福祉常任委員  
東京2020オリンピック  
ピック・パラリンピック  
調査特別委員長  
松川町浅川字大古内9  
TEL: 548-7683

**真田 広志**  
相談役  
文教福祉常任委員  
議会運営委員  
松浪町1-15  
TEL: 526-3201

**穴戸 一照**  
顧問  
総務常任委員  
監査委員  
荒井字上町裏10  
TEL: 593-1035

**渡辺 敏彦**  
顧問  
経済民生常任委員  
東京2020オリンピック  
ピック・パラリンピック  
調査特別委員  
松川町字青麻山3  
TEL: 567-2660

**黒澤 仁**  
会長  
経済民生常任委員  
飯野町大久保字谷津44  
TEL: 562-3582

**二階堂 武文**  
総務会長  
文教福祉常任副委員長  
東京2020オリンピック  
ピック・パラリンピック  
調査特別委員  
町庭坂字内町51-2  
TEL: 591-1138

**萩原 太郎**  
総務会参与  
総務常任委員  
議会運営委員  
山口字下屋敷28-2  
TEL: 535-4693

**誉田 憲孝**  
幹事長代行  
経済民生常任副委員長  
議会運営委員  
本内字西畑4-6  
TEL: 553-7030

**大平 洋人**  
幹事長  
建設水道常任委員長  
八島田字東本庄町4-27  
TEL: 559-2043

**小松 良行**  
副会長  
総務常任委員長  
東京2020オリンピック  
ピック・パラリンピック  
調査特別委員  
瀬上町字東町2-6-10  
TEL: 553-0647

**編集後記**  
昨晩は七夕。皆さんの地域では天の川をはさんだ織姫と彦星はよく見えましたか。古来より1年に1度の2つの星の再会を祝ってお願いごとをすることが習わしです。お恥ずかしい話ですが私は織姫である(こと座のベガ)と彦星である(こと座のアルタイル)がどちらなのかこれまで分からなかったのです。夏の大きな三角形の白鳥座のデネブの右が織姫(こと座のベガ)、左が彦星(わし座のアルタイル)と覚えればよいようなので今年こそは2つの星をきちんと見つけて願い事をしたいと思います。皆さんもぜひ願い事ができるように7月7日の夜、天気がよくなることを原稿を書きながら祈っています。

**川又 康彦**  
政調会長代行  
建設水道常任委員  
議会運営委員  
飯坂町字湯町25  
TEL: 542-4251

**白川 敏明**  
政調会長  
建設水道常任委員  
議会運営副委員長  
飯坂町字中原36  
TEL: 542-4041